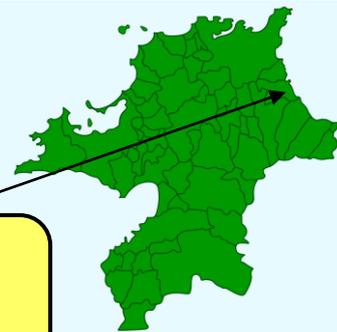


## 社会福祉法人 行橋市社会福祉協議会

〒824-0063 行橋市大字中津熊501 ウィズゆくはし内  
TEL0930-23-1111 / FAX0930-22-2903

### 行橋市のデータ【平成24年1月1日現在】

人口 72,363人 世帯数 29,622世帯 高齢化率 23%  
自治会等数 182 民生児童委員数 127人



# 出会い・ふれあい・支え合いの舞台づくり

## ●指定事業実施の背景

182行政区のうち、85行政区68ヵ所（平成22年度4月現在）でサロン活動を行っていた。平成21年4月にサロン活動の浸透拡大と活性化を図るため「行橋市いきいきサロン推進協議会」（以下：いきいき推進協）を設立し、校区老人クラブ会長にいきいき推進協の委員として参画して貰うことで、老人クラブとの連携も積極的に行えるようになっていた。そこでいきいき推進協委員の資質の向上、既存サロンの活動支援（各種研修会・情報交換等）および市内全域にサロン活動を広げることを目的に指定事業を開始した。

## ●2年間の軌跡 活動の概要

いきいき推進協委員の資質向上を図るため、研修会やいきいきサロン代表者会議、先進地視察を実施した。この成果を踏まえ、いきいき推進協の委員が市社協職員と一緒に新規立ち上げサロンへ説明に出向いたり、研修等で実践報告を行った。

また、サロン活動に介護予防や認知症に効果のあるダーツを取り入れて、サロンの活性化・活動の継続を図るとともにサロン間の横のつながりを作る取り組みを実施した。

- ①先進地視察（筑後市・長崎県諫早市）
- ②サロン専属ボランティアの組織化
- ③サロン活動普及のためのDVD作成
- ④ふれあい・いきいきサロン開設・運営マニュアル作成

## ●事業効果

いきいき推進協と社協の共同事業を積極的に行い、各サロン代表者が自分たちの地域を自分たちでよくしようという意識が芽生え、助成金が少ない等々の不満や意見は出なくなった。またサロン普及のためのDVDおよび開設・運営マニュアルを作成し、未設置地区での設置に向けた啓発につとめた。認知症に関する劇を各サロンで行うボランティア団体（いきいきネット）の組織化ができた。

2年間で市内にサロン活動が103行政区に広がり、78箇所までサロンが増加した。

## 担当者の声

指定を受けることで費用面だけのメリットではなく、他の指定社協との情報交換ができ、お互いの取り組みを知る機会があったのでとても参考になりました。今後はお互いの連携のために県内のネットワークを強化する必要があると感じています。

また、いきいき推進協のメンバーがサロンの出前講座や立ち上げ支援で社協と一緒にサロンの必要性などを説明して下さり、社協を応援してくれる地域の方々が増えていることを心強く感じ、日々の活動のエネルギーになっています。

サロン活動に認知症や介護予防に効果のあるダーツを取り入れたので、今後はサロン対抗ダーツ大会の企画等サロン活動を側面的にお手伝いできればと考えています。

行橋市社会福祉協議会 地域福祉係 原口 貴志 氏、中村 善行 氏

# 活動のあしあと

## 行橋市いきいきサロン推進協議会とは？



研修委員会

広報委員会

企画委員会

小地域福祉活動（サロン活動）を継続するために、横の連携を図りサロン組織強化や情報共有また市内全域に広げることを目的に各サロンの代表者や世話人25名で組織され、毎月定例会や学習会を実施している。



いきいき推進協の委員が新規立ち上げサロンへ説明を行っている様子。



ダーツ指導者研修の様子。  
市内のサロンへ指導に行きます。



他の地域から視察研修の様子（長江地区サロン）



サロン設置運営マニュアル



行橋市サロン紹介DVD

## 今後の取り組みと目標

いきいき推進協の委員の意識を高めるために、引き続き毎月の定例会議や他の地域との情報交換会や視察研修を予定しています。いきいきサロンの運営・開設マニュアルを作成したことにより、地域に入るきっかけができるため、未設置地区への更なる普及・啓発に努めます。

サロン活動へ来られない方への対応や地域で支え合う為の風土づくり、サロン活動から見守り訪問活動へと展開するために、各サロンに対し、月に1回の世話人会を提案し、「地域の課題を地域で考えてもらう」よう支え合いの地域づくり・人材育成について後方支援を行います。

また、行政担当課と連携しながら災害時要援護者支援マップづくりやサロン活性化のために介護予防に効果のあるダーツの普及にも力を入れていきます。